

詠唱会（えいしょうかい）

三十一字の和歌に曲をつけた「詠歌（えいか）」と、七五調の歌詞に曲をつけた「和讃（わさん）」を習い歌う会で、寺院により組織されています。

詠歌では、法然上人が阿弥陀さまの慈悲の心や教えを情感豊かに詠まれた和歌を、和讃では浄土宗の年中行事・法要のための曲や、寺院参拝、高僧顕彰の曲など（新曲を含む）を唱えます。さらに、詠歌・和讃の心を体の動きで表現し、仏・祖師・高僧を讃歎し供養する「舞」を合わせて学ぶところもあります。

浄土宗では、法然上人が起居した草庵のあった京都・総本山知恩院付近の古い地名にちなみ、詠歌・和讃・舞を総称して「吉水流詠唱」と呼んでいます。

吉水流詠唱（よしみずりゅうえいしょう）

吉水流詠唱とは、浄土宗の制定した詠歌、和讃及び舞をいいます。

1. 詠歌

詠歌は、ほとんど法然上人の御作をお唱えしていますが、念仏の教えを説かれ、導かれた高僧のお歌もお唱えしています。

2. 和讃

和讃は、浄土宗の年中行事、たとえば御忌、両彼岸、銃や法要を中心に、行事の意味をあきらかにし、法要に参加するために作詩されています。そしてまた、このほかに昔から伝えられ、使われている念仏への導き、あるいは念仏を讃えた古い和讃、黒谷和讃、来迎和讃、いろは和讃等を用いています。

3. 舞

舞は、洋舞、日本舞があります。どれもお歌の心を動作の上に表現して、自分自身が身体全体を通じて仏を賛美し、供養する喜びを表すのです。

吉水講

1. 総裁

浄土門主 伊藤唯眞 猯下

2. 総本部・教区本部・寺院支部

吉水講には、総本山知恩院吉水講、大本山増上寺吉水講、大本山善導寺吉水講の三総本部があります。また教区には教区本部があり、寺院には寺院支部があります。

3. 吉水講信条

私達は浄土宗吉水流の詠歌和讃及び舞を研修すると共に、念仏信仰を確立し、次の五ヶ条の内容を成し遂げる様に、力を合わせ努力致します。

吉水講信条（よしみずこうしんじょう）

私たちはこの詠唱を通じ

- 一、篤く三宝を敬い、仏祖の恩徳に報います。
- 一、元祖法然上人の教えを体し、この道の興隆に励みます。
- 一、互いに助け合い、念仏をよろこびます。
- 一、自らのつとめにいそしみ、家庭の平和を念じます。
- 一、広く同信を募り、社会の浄化につとめます。

吉水流詠唱を体験してみましよう

光明摂取和讃

月かげの御詠歌